

●H29.2.18、りんくうタウンアマモ場分布調査

空撮は海表面での太陽光の反射を避けるため日の出に行きます。今日の日の出は6時40分ですから、それに合わせて6時50分集合です。

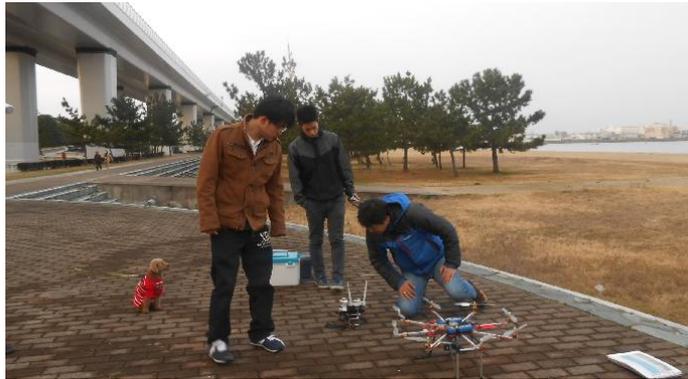
時間通りに二色の浜公園に集合し、早速空撮の準備です。

ここでトラブルが発生！モニターに画像が映りません！

有田先生と学生の方が、各部をチェックされますが、うまくいきません。ドローンに取り付けたカメラは正常に作動し、映像データを送信しているのですが、コントローラーが受信できず、モニター画面にはエラーメッセージが返ってきます。

有田先生と学生の方が各部をチェックしますが、やはり同じ状態です。

時間も経過し、有田先生と相談し、“今日は断念し、持ち帰り、各部をチェックし、うまく作動するのを確認し、再度行う。”ことにしました。



なんで、映らないんだ？(二色の浜)

そこで、水中ビデオによる海底調査に樽井漁港に向かいました。

ドローンによる空撮を取り止めたことで、乗船時間が約30分早まりました。各漁協の船長さんにその旨を伝え、早めに待機して頂けるようお願いしました。



まだまだ寒い！（樽井）

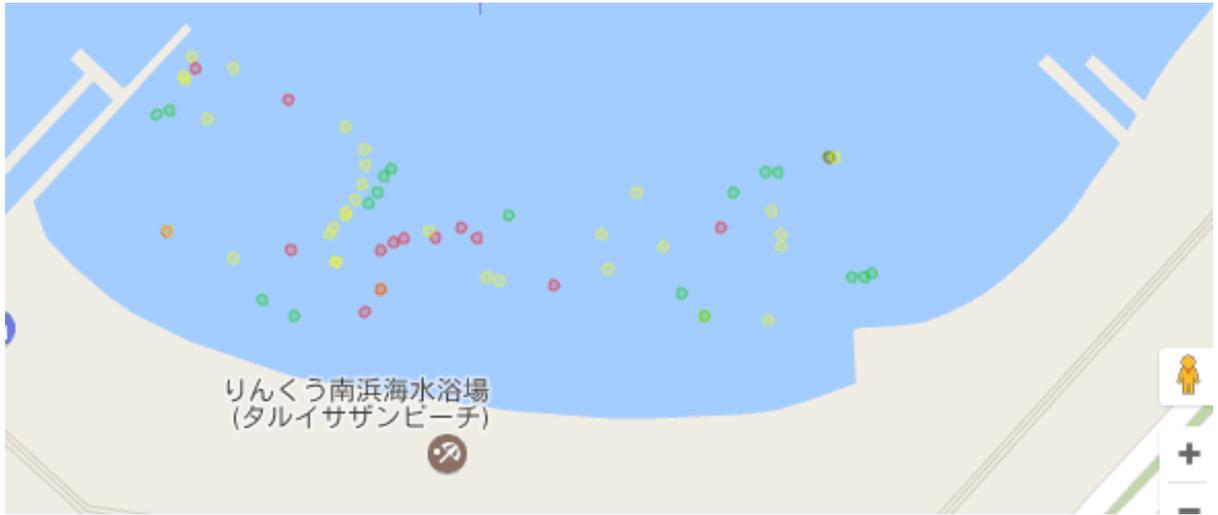
船の上でも思ったようにはいきません。

船長に、“海岸に平行に行ったりきたり、2ノット(1m/sec)で走って下さい。”とお願いすると、“無理！どんなに減速しても、5ノット(2m/sec)以下にはならん。”とのこと。頭で考えていることは現実には難しい。それでは、沖に船を止め、風、波、流れに任せようということにしました。樽井だけでなく、岡田浦、北中通の船長さんからも同じ答えでした。

また、水中ビデオ”釣るとこみるぞう君”のCCDカメラは釣糸で吊り下げていますが、吊り下げた直下ではなく斜め下方に流されます。できれば、水中ビデオカメラにGPSをつなぎ、画像と位置情報を同時に取り込んでほしいものです。

7月25日よりかは進歩しましたが、まだまだ本調査については多くの課題が残りました。

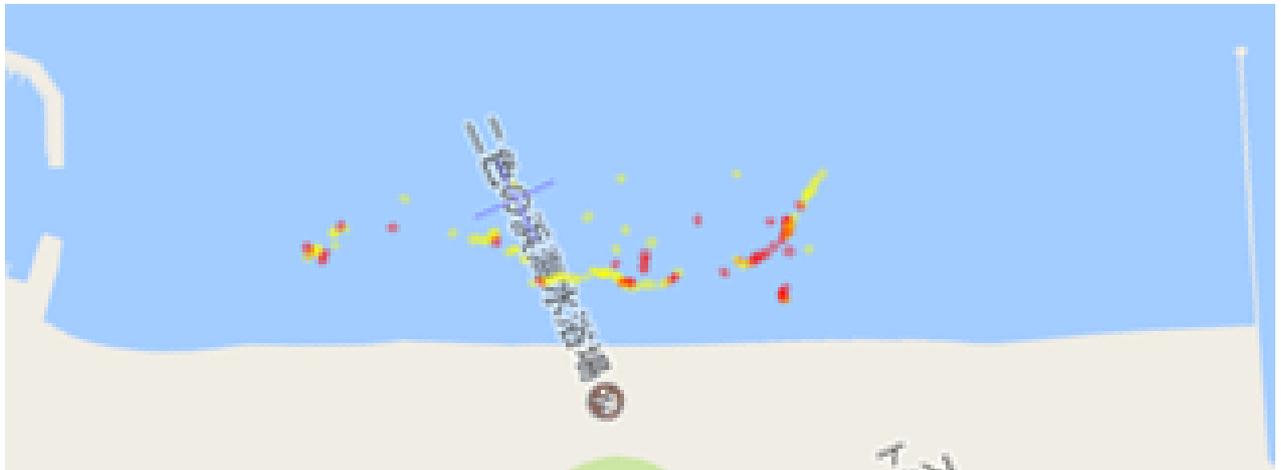
以下に調査結果を示します。



樽井(●:アマモ、●:アオサ、●:砂地)



岡田浦(●:アマモ、●:アオサ、●:砂地)



二色の浜(●:アマモ、●:アオサ、●:砂地)